

総合的人間関係力を涵養する学生支援

～大学と地域で作るプレ社会における実践的トレーニング～

学生活動支援センターの設置

学生支援GPは、昨今の大学生の「人と関わる力」の低下を、学生個々の能力の低下ではなく生活経験や社会体験の不足から来るものと考え、その経験を補っていくことを目的としています。そのために平成20年度には、学生支援部の中に新たに「学生活動支援センター」を設置しました。学生活動支援センターでは専任職員（学生活動コーディネーター）3名、教員（兼任）2名の計5名を配置し、学生活動の活性化に向けたさまざまなサポート業務を行っています。



「学生スタッフ」制度

「学生スタッフ」制度は、学内のさまざまな公的活動に学生をスタッフとして雇用し、奨励費を支給することで、大学の構成員としての自覚や責任を持ってもらうことだけでなく、経済的支援を行う事も目的としています。平成20年度は、延べ200人の学生が計3,300時間の活動に従事しました。

平成20年度 学生スタッフ活動一覧

大学行事補助

入学式・卒業式運営補助
オープンキャンパス・ミニオープンキャンパス運営補助
就職ガイダンス、合同企業・病院説明会運営補助
環境「みらい」サミット運営補助
大学GPフォーラム（健康と環境）運営補助
マルチリンガル・スピーチコンテスト運営補助
県立大学フェスタ運営スタッフ

大学内業務補助

遠隔講義における通信装置の操作補助
「医学」（基礎科目）の授業補助
図書館司書業務補助
地域文化の再検討（附属郷土文学資料センター所蔵資料のデータ化）
栄養教諭の専門性の高度化に関する先導的プログラム開発研究会に伴う編集作業
憩いと思いやりのある場づくり（学生による駐輪・駐車マナーアップ活動）

学生相互の支援（留学生・下級生支援など）

ピアサポート活動
交換留学生の日本語チューター及び生活支援
外国人留学生向け生活ハンドブックの原稿作成、翻訳作業等
受験生おもてなし

オープンキャンパス運営補助

参加した高校生と保護者の方々に対する案内や誘導係として活動しました。平成20年度本学に入学した1年生も、しっかりとした様子で学内の案内や説明をしていました。



憩いと思いやりのある場づくり （学生による駐輪・駐車マナーアップ活動）

学内を巡回し、声かけを行いながら、学内の環境美化とマナーアップ意識の向上に取り組み、駐輪禁止スペースにあふれる自転車を整理し、マナー違反の自転車・自動車には張り紙をしました。マナーアップ活動とあわせて、「放置自転車の整理」の札付けも行いました。



YPUドリームアドベンチャープロジェクト2008

大学生生活をより良くするために学生・院生が自分たちの力を発揮する場として、平成18年度から「YPUドリームアドベンチャープロジェクト」を実施しています。YPUドリームアドベンチャープロジェクトとは、大学生活をさらに楽しく豊かにするために、学生（個人やグループ）が自主的に企画・運営する独創的で魅力的なプロジェクトに対して、大学が費用を補助することで夢の実現を支援する事業です。

〔YPU:Yamaguchi Prefectural University
(山口県立大学)の頭文字をとったもの〕



YPU「ゆめの森」づくり



宮野交流会

YPUドリームアドベンチャープロジェクト2008 採択プロジェクト

お弁当の日 (大学生の食意識向上を目指した交流の場の提供)	大学生の食意識向上と地域交流を目的とし、テーマに沿った料理を各自持ち寄る。学部学科、教員、学生を超えた情報交換や、食について話し合う時間の提供と、「おいしく・楽しく・食べる」場の提案。
心も体も健康になる「ヘルサー」	地域の高齢者を対象とし、学生との交流会を通じて身体・精神・社会的に両者が健康になること、また学生と地域とのコミュニケーションの促進を目的とする。測定やアンケート実施により、プロジェクトの成果を問う。
宮野交流会 ～地域の方と料理教室～	山口の料理や特産をテーマに、地域の方と学生の交流の場となる料理教室の提供をする。
YPU「ゆめの森」づくり	地域と連携し、大学の自然環境の整備を図る。両者が協力しながらシイタケの栽培を行うことを通じた、学生への学習の場の提案、また自然公園として大学の森を地域に開放する。
YPU WORLD BAZAR	3回のイベントを通じて、小・中学生の異文化や国際問題への興味を引き出すことを目的とする。地域の留学生・外国人が交流し、国際意識と相互理解、両者のつながりを深める。
県大発 自然体感プロジェクト及びエコアクション21学生委員会活動	県内の一般公募者とともに環境について見直す、体験型環境教育イベントの実施を提案。
「釜山からもおいでませ山口へ」調査隊	関釜フェリー利用者にアンケートを実施し、山口県の観光の実態を調査する。地域の活性化や、山口・福岡・釜山の3都市連携の観光産業を発展させる手がかりとする。

県立大学フェスタ2008

地域において、学生のさまざまな活動を紹介するための初の試みとして「県立大学フェスタ2008」を開催しました。高校生・保護者の方を中心とした地域の方々約100名にご来場いただき、無事終了することができました。

なかでも学生や教職員による相談コーナーは盛況で、親子で入試に関する質問などをする様子が見られました。子供たちには、2人乗り自転車タンデムや、EA（エコアクション）21学生委員会のごみ分別ゲームが人気でした。他にも韓国民族打楽器サムルノリの演奏、また高齢者の疑似体験コーナーなど、他ではなかなか味わえないようなプログラムも充実し、「県立大学フェスタ」にふさわしい内容となりました。

多目的シアターでは、音楽系サークルの演奏や踊り、演劇の他、「県大一受けたい授業」として4人の教員によるミニ講義を開講しました。



さまざまな学生活動の支援

ファシリテーター講座

「ファシリテーター講座」は学生支援GPの「体験型セミナー」として実施したものです。

“ファシリテーター”とは、会議や集会など、人が集う場所でのコミュニケーションを円滑にし、メンバーそれぞれの経験や知恵や意欲を上手に引き出していく進行役です。講師3名を迎え、全3回にわたって、「ワークショップってなに?」「体験! 目からウロコのワークショップ」「スゴイ! 会議進行のワザあれこれ」をテーマに、実際にワークショップを体験しながら進められました



ファシリテーター講座

ピアサポート活動

ピアサポーターとは、新入生がキャンパスライフになじんでいくまでの期間、学生生活上の諸々の相談にのる、上級生の学生ボランティアスタッフのことです。9月にはピアサポーターを養成する合宿研修を2日間行いました。



ピアサポート活動：研修風景

地域からの各種要請の受託と地域への学生派遣事業

小学生対象 なつやすみの宿題ボランティア

「小学生のためのなつやすみの宿題楽しく学ぼう会」を開催し、3日間にわたって学生ボランティアが小学生のなつやすみの宿題のサポートをしました。



放課後子ども教室ボランティア

10月から、地域の大人とともに、本学の学生ボランティアが子どもたちの学習相談等に応じる「放課後子ども教室」のサポートをしました。



地域災害ボランティア

10月に「災害ボランティア講座」を開催しました。



炊き出し会の様子

広報・HP

HPを開設し、学内掲示とあわせて、学生スタッフ募集やイベントの開催予告などを随時行いました。

(<http://blog.ypu.jp/gakukatsu>)

学期ごとに広報誌「かえるのうた」を発行し、学内・地域に配布しました。(16ページ参照)

